

要望活動報告書

実施日	平成23年 1月21日(金)
要望者	会津総合開発協議会 役員
要望先	福島県知事 佐藤 雄平 様 福島県議会議長 佐藤 憲保 様 福島県土木部長 原 利弘 様 福島県農林水産部 (口頭要望)
要望事項	<p>下記3点につきまして、緊急要望を実施いたしました。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 県が管理する道路や橋梁、更に各種施設周辺については、一度にまとまった積雪となる近年の降雪状況に鑑み、きめ細かな除排雪体制をとるとともに、適時適切な除排雪を行い、住民生活の安全・安心の確保に努めること。2. 当地方における記録的な降雪により、市町村道の除排雪費が増嵩していることを受け、県においても、国に対して、必要な財政支援措置を行うよう強く要請すること。3. 豪雪によるビニールハウス等の農業施設への甚大な被害に対し、早急に十分な支援措置を講じるとともに、そのための予算を確保すること。 <p>※ 要望事項3については口頭での要望</p>



↑ 佐藤知事へ要望書を提出

要望の様子 (写真)



↑ 佐藤県議会議長へ要望書を提出

会津地方の豪雪による除雪等に関する緊急要望

去る平成22年12月25日からの大寒波に伴う記録的な豪雪は、会津地方に甚大なる雪害をもたらした。

金山町では降り始めからの積雪が146cmを記録し全国1位、会津若松市でも同じく降り始めからの積雪が115cmとなり同市の観測史上最高タイを記録し、夜通しの除雪作業も処理が追いつかず、住民生活に大きな影響を及ぼした。

また、全国のトップニュースでも報じられたとおり、会津坂下町から西会津町にかけての国道49号においては、約300台の自動車が丸1日以上立ち往生を余儀なくされるという長時間の通行止めが発生した。

さらに、その他の路線でも通行がままならない状況が続き、食料品、燃料等生活物資の配送にも支障が出るなど地域社会に大きな混乱を招いた。

現在、当地方においては、住民生活を守るべく、日夜、市町村道の除排雪作業に懸命の努力を傾注しているが、今後、更なる降雪が予想され、予断を許さない状況が続いている。

除排雪作業は、住民の安全・安心な生活の維持に直結することから、地域における交通ネットワークの要である県管理道路においても、除排雪に万全の体制で取り組まれるよう望むものである。

過日、当協議会は、国に対し、当地方の除排雪に係る経費への緊急的な財政措置を求めるとともに、国道の除排雪の強化、維持管理の徹底を緊急に要望した経過にある。

については、県に対しても下記事項について強く要望する。

記

1. 県が管理する道路や橋梁、更に各種施設周辺については、一度にまとまった積雪となる近年の降雪状況に鑑み、きめ細かな除排雪体制をとるとともに、適時適切な除排雪を行い、住民生活の安全・安心の確保に努めること。
2. 当地方における記録的な降雪により、市町村道の除排雪費が^{ぞうすう}増嵩していることを受け、県においても、国に対して、必要な財政支援措置を行うよう強く要請すること。
3. 豪雪によるビニールハウス等の農業施設への甚大な被害に対し、早急に十分な支援措置を講じるとともに、そのための予算を確保すること。

※ 要望事項3については口頭での要望